



1月園だより



令和7年1月4日
目黒区立菅刈保育園長

あけましておめでとうございます。

お正月はどのように過ごされましたか？子どもたちから初詣に行った話やどう過ごしたのか等、沢山話が聞ける事を楽しみにしています。

先日園庭では、1歳児クラスから5歳児クラスの子どもたちが遊んでいました。その中で5歳児クラスの中に2歳児クラスの子が入ってかくれんぼが始まっていました。隠れる場所は園庭の端から端まで使って遊んでいます。大きな声で「もういいかい」「まあーだだよ」というやり取りが聞こえていました。それでも他の子たちは、かくれんぼに気を取られる事なく、自分たちの遊びに集中して遊んでいる姿がありました。そして次の日には2歳児クラスの子だけで、園庭でのかくれんぼが始まりました。お兄さんお姉さんから刺激を受けて楽しめた事が自分の遊びとして楽しめている姿に成長を感じました。

また、4歳児クラスの子がバスマットで家を作っていました。どうしても屋根を作りたかったみたいですが、壁となるマットが崩れてしまいなかなか屋根が出来ません。それでも諦める事なく、友達同士で持つ人を決め、試行錯誤しながらようやく作り上げることが出来ました。出来上がるまで1時間以上かかりました。途中で諦めずにやり切った子どもたちの満足そうな表情はとても誇らしげでした。家の中を覗かせてもらうとそこにはベッドやテレビもあり、部屋も2つに分かれています。

保育園では、子どもたちが今後“生きていく力”に繋がるように、主体性を育てることを目標に保育活動を行ってきました。一斉に「○○しましょう」と促されて行う遊びではなく「子どもたちが自ら始めて、夢中になって遊ぶこと」に重点を置いています。改めてその事を大切にしながら保育をしていきます。



今月の予定

- 新年子ども会
- 身体計測（幼児）
- 身体計測（乳児）
- 菅刈 Town
- 節分
- 避難訓練



懇談会の予定

- つぼみ組
- すみれ組
- ひまわり組
- りす組
- うさぎ組
- きりん組

菅刈通信
看護師編

子どもたちの健康や体調管理だけでなく、その時期に必要な健康教育も行っている看護師。先日5歳児クラスで行った様子をご紹介します。



～看護師による健康教育～

〈生活リズム〉

- すやすやマン・おはようマン・
 - もぐもぐマン・すっきりマン・
 - がんばりマンの5人の仲間を使い
 - ①夜は9時までに寝る
 - ②朝は7時までに起きる
 - ③朝ご飯をしっかり食べる
 - ④排便をする
 - ⑤外で元気に遊ぶこと
- を伝えました。



「12時まで起きてた事あるよ」「いつも7時前に起きている」など自分の普段の生活と比べて考えていました。特に5歳児クラスの子は生活リズムを整えて、元気に小学校生活を送れるようにとの時期に生活リズムについて健康教育を行いました。

ぜひご家庭でも、生活リズムについてお子さんとお話ししてみて下さいね。





すみれ組 (1歳児)



1. 3. 5歳児クラスの好きな遊び

保育士がままごと机でご飯を作っていると、チェーンを器に入れて「メンメン」と持って来てくれました。「美味しそうだね、何味かな」と聞いてみると、マラカスを取りに行き「パッパッパッ」と塩に見立てて味付けをし始めました。「出来たのね、あちちかな。味見していいかな」と尋ねると「あちちよ」と言って、息をフーフーと吹きかけて冷ます真似をしてから、食べさせてくれました。そして保育士が「塩味の麺、美味しいね」と言うと「美味しいね」と返し、嬉しそうにまた料理を作りに行きました。保育士とやり取りを楽しみながら、生活の再現遊びや見立てつもり遊びを楽しむ姿が増えてきています。

個々のイメージを汲み取りながら、○○しているつもりの世界がより豊かになる様に一緒に楽しんでいきたいと思います。



きりん組 (5歳児)

園庭でマット、ボトルケース、ベンチ等を組み合わせて家や乗り物を作ることが大好きな子どもたち。「お家作ろう」「恐竜のお家にしようよ」と友達を誘い、イメージを共有しながら組み立てていきます。

ある日、滑り台を作ろうと3人の子が集まりました。今までの経験や年上の子の遊びを見ている中でイメージがあり、ベンチとマットを一生懸命引きずって持ってきます。ベンチを組み合わせて滑り台にし、マットは「危なくないようね」と言いながら下に敷き詰めています。完成し遊び出すと上る子、下る子でぶつかってしまう事に気が付きました。すると「こっちが上る方で、こっちが滑り台ね」と自分たちで楽しく遊べるようにルールを考えていきました。毎日の様に園庭に出て、様々な道具を組み合わせて友達と遊ぶ中で、面白い遊び方を沢山見つけている子どもたちです。

手先が器用なきりん組にとって、空き箱は楽しく刺激的な遊び道具になり「何を作ろう」と目を輝かせて取り組んでいます。ハサミや糊などの使い方も巧みになった事で、イメージを思い通りに表現出来るようになりました。

空き箱に穴を開けて、その穴に青いセロファンを貼り、青い世界を作り上げ「ここはね、海の中なんだよ」と説明してくれました。しばらくして見せてくれた空き箱には、更に手が加わり「青をね、いっぱい重ねたら、暗くなつて深海って言うんだよ」と言い、目を凝らすと見える位の深い青の中に魚が泳いでいました。「よく考えたね。太陽の光の下だと、また違う風に見えるかもしれないね」と伝えると早速光にかざし、セロファンから透き通る色の変化を楽しんでいました。

今後もイメージを形にし、表現する力や工夫する想像力を遊びの中で育んでいけるように見守っていきます。



りす組 (3歳児)

